

安全衛生情報

日立埠頭株式会社
勤労部



四輪車と歩行者が衝突する 交通死亡事故多発！



今年に入り、18件の交通死亡事故が発生しており、うち四輪車と歩行者が衝突する交通死亡事故が**9件（前年比+3件）**発生しています（2月19日現在）。四輪車と歩行者が衝突すると、死亡事故や重傷事故等、重大な事故につながりやすく、注意が必要です。

四輪車が道路上で歩行者と衝突する交通死亡事故

出典：茨城県警察本部交通総務課

事故の原因として

- 安全な速度で進行しなかった
 - 前方の安全確認が不十分であった
 - 考え事等の漫然運転をしていた
- などが挙げられます。

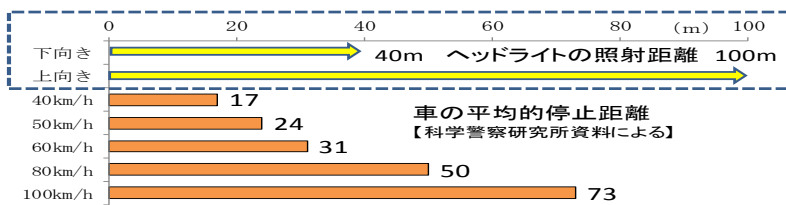
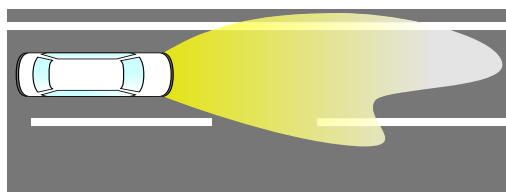


日没30分前からのライト点灯、夜間の上向きライトの重要性について

～歩行者を早期に発見するために～

日没時を基準にして交通事故の発生状況を見ると、日没前の方が多く発生しており、視界を確保して未然に事故を防ぐために日没30分前にライトを点灯することは有効です。

また夜間は昼間に比べて見通しが悪く、交通量が減少するため、スピードを出し過ぎる傾向があり、歩行者を発見しても避けきれない場合があります。ヘッドライトの照射距離は右側が短いため、右から横断する歩行者は発見しにくい。上向きライトの照射距離は約100mで下向きライトの約2.5倍であり、遠くまで視界が確保できるため、道路状況に応じてライトをこまめに切り替える必要があります。



安衛豆知識 「不注意にならないよう自分自身を振り返る！」

注意は作業者の頭の中に行われている働きだから外部からは観察できません。従って、エラーをしてはいけない時に、注意をよく働かせて行動をコントロールするというのを、我々自らが行わなければなりません。つまり「自分自身を振り返る(観察する)」ことで自己コントロール(危険回避行動)を図ることが出来ます。

慣れた作業で惰性的になり易く注意力が低下、自分でも気づかないミスが発生することを防止するために「指差呼称での確認」はすべての仕事に役立つことであるので、実践することをお願いします。作業前の点検を確実に 作業手順の確認と指差呼称で安全確保 ヨイカ! ヨシ!!
ご安全に!!

安全衛生情報

日立埠頭株式会社
勤労部



路面凍結・積雪による スリップ事故 多発!

こんな場所には特に注意!

出典：茨城県警察本部交通総務課



道路上の雪は、日中気温の上昇とともに溶けだし、夜間や早朝の冷え込みで、凍結するおそれがあります。

カーブや、坂道、山道、トンネルの出入り口など、日の当たらない部分で、スリップ事故が多く発生しています。

また、地熱の伝わらない橋の上（陸橋や高速道路等の高架なども含む）は、特に危険性が高く、死亡事故も多く発生しています。

スリップ事故を防ぐには?

安全な速度と十分な車間距離

凍結した路面では、乾燥した路面と同じように停止することはできません。路面の状態により、停止距離が約4倍になる場合もあります。凍結が予測される場所では、特に慎重な運転を！（スリップ事故の6割近くは追突です）

【※参考：アイスバーンでの停止距離 50km/hで走行時 → 約110m】

「急」のつく操作をしない

急ブレーキ、急ハンドル、急発進、急加速は、スリップ事故の大きな原因です。

冬用タイヤの準備

突然の降雪などにも対応できるよう、事前にスタッドレスタイヤの装着や、タイヤチェーンを準備しておきましょう。



安衛豆知識 「報・連・相 みんなで使って情報を活かす！」

現場では至るところで共同作業が行われている。共同作業中に起こる災害には「分かっていると思った」「お互いに理解していると思った」など、作業者同士の思い込みによって「報連相」が十分に行なわれていないことによるものが少なくない。

共同作業における規程には「合図応答」「連絡方法」そして「禁止事項・遵守事項」などが定められている。これは「危険の潜在化」「業務の調整」「トラブルの対応」などが定められている。

このように「報連相」はすべての仕事に役立つことであるので、実践することが大切です。

作業前の点検を確実に 作業手順の確認と指差呼称で安全確保 ヨイカ！ ヨシ！！

ご安全に！！

安全衛生情報

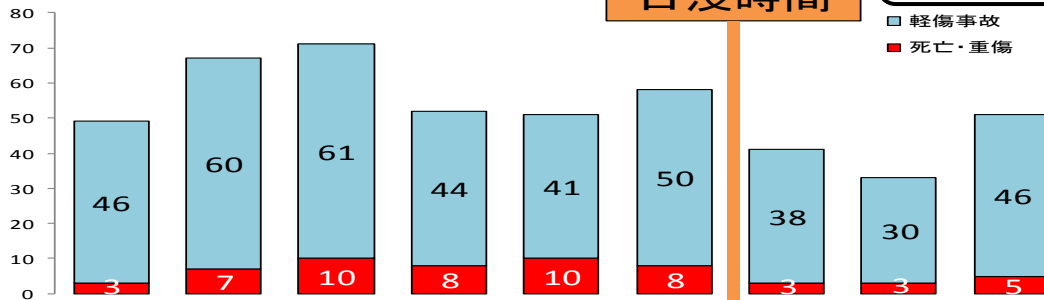
日立埠頭株式会社
勤労部



ヘッドライトの点灯は日没30分前!!

日没時の人身交通事故発生状況

日没時を基準に交通事故発生状況をみると、日没前のほうが発生傾向が高くなっています。

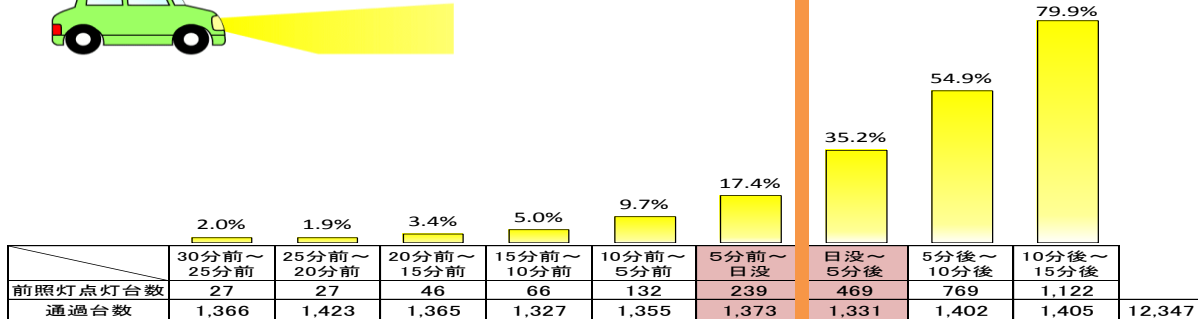


	30分前～25分前	25分前～20分前	20分前～15分前	15分前～10分前	10分前～5分前	5分前～日没	日没～5分後	5分後～10分後	10分後～15分後
軽傷事故	46	60	61	44	41	50	38	30	46
死亡・重傷	3	7	10	8	10	8	3	3	5
合計	49	67	71	52	51	58	41	33	51

前照灯の点灯率調査結果

日没時間

出典：茨城県警察本部交通総務課



	30分前～25分前	25分前～20分前	20分前～15分前	15分前～10分前	10分前～5分前	5分前～日没	日没～5分後	5分後～10分後	10分後～15分後	通過台数
前照灯点灯台数	27	27	46	66	132	239	469	769	1,122	
通過台数	1,366	1,423	1,365	1,327	1,355	1,373	1,331	1,402	1,405	12,347

- 薄暮時間帯の交通事故防止のためには、
「他の車や歩行者をいち早く発見すること」
「自車の存在を早く知らせること」
が重要です。早めのヘッドライト点灯で車の存在をアピールしましょう!
- オートライト(自動点灯機能)に頼ることなくヘッドライトを点灯しましょう!
※曇り、雨天時は更に早めの点灯を!



安衛豆知識「冬特有の凍結・積雪・圧雪へのリスク対策を！」

1月は冬本番の寒さによる、道路路面の凍結、積雪があり出退勤時の注意をお願いします。また作業においても注意が必要です。特に本船内作業はシャーシ上部にある残雪、船内にある圧雪等による滑る・転ぶ等冬特有のリスクがありますので、作業前の危険予知でリスクを洗い出し、対策をたて、全員に周知することが大切です。特に各作業場の中の不安全状態の見落としや、あせる心から発生する不安全な行動をチェックすることをお願いします。朝の作業開始前に決めた「危険のポイント」の指差呼称を励行することは、安全意識を向上させる上で最も重要なことです。 作業前の点検を確実に 作業手順の確認と指差呼称で安全確保 ヨイカ! ヨシ!!

ご安全に!!